

白根北児童館（小学生）

1 段ボールコンポストに挑戦！

令和6年4月13日（土曜）

白根北児童館で段ボールコンポストを使用した生ごみの堆肥化が始まりました。

参加者は、12名のきたっこわくわくクラブ生と、5名のきたもんクラブの方々と、約60日かけて生ごみの堆肥化に取り組んでもらいます。

これから14日間かけて、生ごみを投入していき、その後、約30日間かけて分解させ、堆肥を作っていきます。



2 生ごみからできた堆肥で野菜づくり

令和6年6月19日（水曜）

白根北児童館で、段ボールコンポストからできた堆肥を使って、野菜の苗植え、及び、種植えを行いました。この日は、谷口農園（※）の園長を務める、アルビレックス新潟の谷口海斗（たにぐちかいと）選手も、段ボールコンポストで作った堆肥を持ってかけつけてくれて、一緒に作業を行ってもらいました。

谷口選手からは、「これから収穫まで、野菜たちに話しかけながら育てていってほしい」と貴重なお言葉をいただきました。

帰り際、白根北児童館からも、段ボールコンポストで作った堆肥を谷口選手へプレゼントしました。

野菜は、ピーマン、ししとう、枝豆、トマトの4種類です。これから野菜づくりが始まります。



※「谷口農園」とは、谷口選手が園長として、アルビレックス新潟クラブハウスの敷地内でトマトやナスなどの野菜を栽培している農園です。収穫した野菜は、選手・スタッフにも好評です。

3 野菜の収穫、収穫した野菜の提供

令和6年8月21日（水曜）

白根北児童館で野菜（枝豆、ミニトマト、ししとう、ピーマンなど）を収穫しました。

この日も、谷口農園（※）の園長を務める、アルビレックス新潟の谷口海斗（たにぐちかいと）選手が、谷口農園で収穫した野菜を持ってかけつけてくれて、一緒に作業を行ってもらいました。採れた野菜は、「大通こども食堂もぐ」さんへ提供し、明後日23日（金曜）、子ども食堂で、それらの野菜を使った料理を食べます。



※「谷口農園」とは、谷口選手が園長として、アルビレックス新潟クラブハウスの敷地内でトマトやナスなどの野菜を栽培している農園です。収穫した野菜は、選手・スタッフにも好評です。

4 収穫した野菜の食事

令和6年8月23日（金曜）

大通こども食堂もぐにおいて、白根北児童館で収穫した野菜を使った料理を食べました。また、これまでのSDGsの取り組みの紹介や、取り組みに参加した「きたっこわくわくクラブ生」から感想を発表してもらいました。最後に、生ごみの堆肥化から野菜の収穫まで一緒に取り組んでいただいた、アルビレックス新潟の谷口海斗（たにぐちかいと）選手から、ビデオメッセージが送られました。



画像提供：アルビレックス新潟